

発行所 広島県自治体労働組合総連合

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目2-27中央レジデンス405号

TEL 082-243-9240/E-mail hjrouren@urban.ne.jp

FAX 082-243-9241/ホームページ http://urban.ne.jp/home/hjrouren/

編集・発行 広島自治労連教育宣伝部

定価 1部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています



人間らしく生活できる
職場と地域を求めて...
労働者が団結!

働くものの団結で生活と権利を守り、 平和と民主主義、中立の日本をめざそう!

2024年5月1日 第95回広島県中央メーデー

写真は、メーデー行進の様子や、活気あふれる集会の様子



つしめました。

世界とつながり 要求を勝ち取ろう!

神部泰広島県労連議長が、「ウクライナ侵略反対、ガザでの即時停戦、大幅賃上げ、最低賃金引き上げなど、日本の闘う労働組合と共通の課題を掲げ、ストライキやデモ等要求を勝ち取っている世界の労働者と連帯し、闘いを飛躍させよう」とあいさつしました。

5月1日(水)第95回広島県中央メーデーが開催され、全体で400名うち広島自治労連から約90名が参加しました。

10時に平和公園噴水前を出発し会場のハノーバー庭園まで「公務共サービスを拡充させよう」等をコールしながらデモ行進し、11時からメーデー次第に沿って進行されました。

労働者の「ルール」 活気あふれる会場

活動報告では、広島自治労連と市民団体が「中央図書館移動問題」について太鼓の音頭とシユプレを組み合わせたアピールし、プラカードコンテストでは女性部が加盟するはたらく女性実行委員会が「憲法を守りいかす政治VS樹液を吸い取る政治」が見事1位を獲得しました。

メーデー宣言が採択され、労働者の団結を力強く誓い合い、人間らしくまともに生活できる職場と地域の実現をめざします。



ドラゴンフライズ★観戦!!

4月21日(日)、広島サンプラザホールで広島自治労連主催地元バスケットボールチーム「ドラゴンフライズ」試合観戦が開催され、組合員や家族、友人40人が参加しました。

多くの参加者が初観戦。コンサート会場のような大音量、試合合間の様々なイベント、何より選手の熱いプレーに圧倒され、あつという間の2時間でした。

試合は広島山崎選手が多数の3ポイントシュートや、倒れながらもシュートを決めたり、ブラックシアー選手がフリースローを全く外さず、得点も多く決めて、83-71で広島が勝利

しました。

初観戦でも応援できる工夫され、最終クォーターを迎える頃には、みんなが拍手で応援に加わりました。

参加者からは「楽しかった。また来たい」「良い席をありがとうございました」「久々に会った」「家族もとても楽しかったです。感想が寄せられ、今後も組合員に喜ばれる企画を開催していきます。」



新鮮力① 今年のNEW FACEを紹介

広島自治労連は、4月以降組合加入が続いています。新しい仲間がどんなひとたちなのか、少しだけ紹介します。

忍耐力を活かし、どんな状況でもがんばりたい

広島市社会福祉事業団労組/支援員

支援員という仕事は、答えがないところにやりがいがあると、思いました。

この1年、体調管理をしっかり行うことを大事にします。

特技は陸上競技の短距離走。これまで培ってきた忍耐力で、どんな状況でもあきらめずがんばっていきます。

楽しく、笑顔の多い1年になるようがんばります

広島市職員労働組合/保育士

子どもが好きなのでこの仕事を選びました。

この1年、とにかく仕事を覚えることを大事にし、休むときはしっかり休んで疲れを取りたいと思います。

組合が開催する保育の学習会に参加したいのでよろしくお願いたします。

平和憲法が支えるいのち — 人権

5月3日 憲法の価値再確認



憲法集会

午前10時から、広島弁護士会館で「2024 平和のいのちと人権を！ 5・3ヒロシマ憲法集会」が開催されました。今年にはジャーナリスト・和光大学名誉教授の竹信三恵子さんを講師に迎え、「憲法9条で生活破壊を止めよう」と題して講演がありました。



写真右上・午前の憲法集会
写真左下・午後のマイライマイ憲法

改憲への動きがいかに憲法の人権条項を空洞化し、女性差別を助長するのかを、データやルポルターージュも含め丁寧にお話いただきました。その後の質疑応答では、公務労働問題を始めた多くの質問があり、「憲法を考える1日」にふさわしい充実した学びとなる集会でした。

マイライマイ憲法

午後2時からは、2024年広島憲法集会「マイライマイケンポ」が県民文化センターのホールで開催され、満員となりました。

第1部は詩人、アーサー・ビナード氏が『ぼくらの「未来」に「自由」はあるのか？』アメリカ生まれの詩人がニッポンのこれからを語ります」と題して講演しました。

日本人は「戦前」「戦後」という単語を使用した場合、それはアジア太平洋戦争の前、後と判断できるが、アメリカ人は朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争と続くため、日本人のように、「戦争」が意味する感覚はないと言われました。だからこそ、日本の平和憲法の価値が大きいと力説されました。

第2部では、「シン・主権者って言われても— 覚醒の時はいつ？」と題して、笑いと風刺と元氣

の出る歌と踊りのミュージカルで観客を楽しませました。岸田政権は、前政権が強行した戦争法（集団的自衛権の行使容認）をさらに押し進める大軍拡へ踏み出し、私たちの平和のうちに生存する権利を危うくしています。そんな大変な時だからこそ、私たちこそ主人公！という、平和と命と人権を支える憲法の価値を確かめ合いたいと思う内容でした。

「地方自治法改定法案」オンライン学習会
●6月12日(水)
●19時～20時30分
●講師
自治労連中央執行委員
内田みどりさん



日鉄呉跡地問題を考える市民県民集会

パリン連 春の学習会

非正規労働者を置き去りにしない

4月14日(日)、広島市市民交流プラザで「広島県労連パート・臨時・会計年度任用職員連絡会(パリン連)春の学習会」が開催され40名が参加しました。学習会では全労連国際局長の布施恵輔さんが「日本の最低賃金はなぜ低い？世界の非正規労働者から考える」と題してお話されました。

が複雑でもアマゾンやスターバックス、そして大学院生労働者の組織化も進んでいると報告されました。日本では根強い正規と非正規の差別、ジェンダー差別を複合的に闘い、世界の「トレンド」を日本でも行おうと呼びかけられました。



写真上・藤井さん
写真下・加藤さん

軍港・呉を再び軍事拠点にさせない

4月21日(日)午後、呉市中央公園ふれあい広場で「日鉄呉跡地問題を考える市民県民集会」が開催され、県内外から400人が参加しました。主催は、防衛省による「多機能な複合防衛拠点」の撤回を求め、4月7日に結成された「日鉄呉跡地問題を考える会」でした。

「旧軍港市転換法」は 呉の平和憲法

主催者を代表して西岡由紀夫共同代表は、呉の



呉の町をデモ行進

高校時代に「軍転法」に賛成を投じた

5名の女性が連帯あいさつをしましたが、斎藤

久仁子さん(92歳)は、高校の授業中に軍転法の住民投票が行われ、賛成を投じたことを発言され、一括購入は戦争する目的以外の何物でもないと強調されました。集会最後に、軍港・呉を再び軍事拠点をさせてはならない・呉の問題は広島県の問題、撤回するまで闘おうと意思統一し終了し、「日鉄跡地の軍事化反対」「平和産業を呼び込もう」等とシュプレッシュながら呉駅までデモ行進し解散しました。